

公立学校共済組合東海中央病院

病院の概要

開設時期：昭和30年4月16日
開設者：公立学校共済組合 理事長 丸山 洋司
院長名：藤原 道隆
病床数：332床
標榜科：内科、神経内科、循環器内科、呼吸器内科、消化器内科、腎臓内科、心療内科、緩和ケア内科、内分泌・糖尿病内科、血液内科、精神科、小児科、外科、消化器外科、形成外科、乳腺外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、歯科口腔外科、病理診断科

医師数：62名
指導医師数：27名
外来患者数：584名／日
入院患者数：244名／日
所在地：各務原市蘇原東島町4-6-2
URL：https://www.tokaihp.jp/



病院の特徴

当院は、名古屋駅から真北に26kmの地点に位置し、岐阜市の東隣で、景勝地として有名な犬山からは木曽川をはさんだ対岸の各務原市に位置します。古くは中山道の宿場町で、現在も名鉄線、JR線、高速道路や幹線国道が走る交通の要衝です。

全国にある公立学校共済組合の8病院のひとつで70年の歴史を持っていますが、現在の本館は2011年の建築で、旧館も全面的にリニューアルされ、全般に比較的新しくきれいな施設です。急性期病院として地域医療に貢献する一方、公立学校教員の健康管理にも取り組んでいます。さらに、緩和ケア病棟や地域包括ケア病棟もあるので、幅広くさまざまな症例を経験することが可能です。標榜診療科28、病床数は332床で、年間延べ入院患者数9万人弱、年間救急搬送数3400件（いずれも2024年）です。

院長メッセージ



藤原道隆

各務原市は大都市圏にありながら、公園都市と言われているように緑が多くゆったりした時間が流れているように感じる街です。一方、名古屋や岐阜の中心街へのアクセスが良く、オフの過ごし方の選択肢にも不足を感じることは少ないでしょう。

上述のように、当院は中規模の総合病院で、患者数や救急搬送数も「ほどよい」規模感でワークライフバランスは良好です。急性期から緩和ケアまで幅広い症例がありますので、プライマリケアをじっくりと勉強したい方には最適の病院と思います。スタッフも温かい雰囲気ですストレスが比較的少なく、働きやすい職場です。

初期研修は、プライマリケアに必要な知識や技術を吸収しつつ、社会人としての基本、プロフェッショナルとして成長する基礎を身につけ、さらに将来にわたるキャリアパスを設定する重要な時期です。当院はこの時期を過ごすのに適していると思います。新しい人生のスタートを切る皆さんを、すこし先輩から先輩に至る多種多様なスタッフが歓迎いたします。

指導医メッセージ

当院では、初期臨床研修の主な目標として、プライマリケアに必要な知識と技術の習得を掲げています。各務原市内唯一の総合病院として、人口14万人の地域において多くの症例を経験することができます。中規模の病院でありながら、指導医による丁寧な指導のもと、さまざまな手技を習得することが可能です。医師としての成長はもちろんのこと、人間としても成長できるよう、接遇教育にも力を入れています。また、研修医が抱える悩みにもしっかりと対応できるサポート体制が整っており、安心して学べる環境です。院内の医局は一つに統合されており、診療科間での相談もしやすく、チーム医療の中でコメディカルスタッフの親切なサポートを受けながら学びを深めることができます。アットホームな雰囲気の中で、自分のペースで研修を進めながら成長できる環境が整っています。地域医療に貢献したいという意欲を持った方をお待ちしています。

研修医メッセージ

当院は人口約15万人の各務原市にある総合病院です。初期研修の2年間は医師としての基本的な姿勢や知識の基礎を身につける時期なので、診療科を問わず様々な疾患を経験できる当院の研修プログラムは、実りのある時間を送ることができます。研修医各自が意欲的に取り組むことで、上級医の先生がたも熱心に指導をしてくださり、多くの手技・症例を早くから経験することができます。また、中規模の市中病院としては珍しく緩和ケア病棟があるなど、急性期のみならず様々な症例を研修できます。就業時間のメリハリが利いていて、プライベートの時間も充実しています。

実際に研修を始め、スタッフの皆さんも協力的でこの病院を選択して良かったと実感しています。皆さん、まずは一度、病院見学にお越しください。

研修スケジュール

1年次（内科：24週（一般外来研修：内科で並行研修）、救急：12週、外科：8週、自由選択：あり）
2年次（地域医療：4週、精神科：4週、産婦人科：4週、小児科4週、自由選択：あり）

例		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	1年次	内科						救急			外科		自由
	2年次	地域	精神	産婦人科	小児科	自由選択							

研修協力病院・施設

岐阜県総合医療センター（産婦人科・小児科）	長良医療センター（小児科）
各務原病院（精神科）	フェニックス総合クリニック（地域医療）
各務原リハビリテーション病院（地域医療）	公立学校共済組合系列7病院（東北、関東、北陸、近畿、中国、四国、九州）
松波総合病院（産婦人科）	岩砂病院・岩砂マタニティクリニック（産婦人科）
岐阜大学医学部附属病院（産婦人科・小児科）	

後期研修・専門研修

以下の医療機関の連携病院となっており、各基幹病院の専門プログラムに沿って専門研修が可能です。

基幹病院	<岐阜県> 岐阜大学医学部附属病院（内科、脳神経外科、小児科、泌尿器科、病理）／岐阜県立多治見病院（内科、外科）／松波総合病院（産婦人科）／大垣市民病院（内科）
	<愛知県> 名古屋大学医学部附属病院（内科、外科、整形外科、眼科、病理）／愛知医科大学病院（内科）／小牧市民病院（内科）／春日井市民病院（内科）／一宮市立市民病院（外科）／名古屋医療センター（内科）

研修プログラムの目標

卒後早期に臨床研修を希望する医師が、指導医のもとで基本となる医学・医療に関する知識や診療技術を習得することにより、基本的臨床能力を身につけ、プライマリケアに対応できるようトレーニングを行うとともに、実際に医療現場で働きながら『医の倫理』を体得し、医師としての質の向上を図ることを目標とする。

研修プログラムの特徴

日頃よく遭遇する common disease から高度な診療レベルが要求される疾患まで経験でき、プライマリケアから専門的治療まで短期間で効率よく研修することが可能なプログラムとなっています。

必修科目以外の期間については各診療科より自由にローテート科を選択でき、2週ずつでのローテートも可能であるため、比較的自由度の高いプログラムとなっています。（院内の自由選択科では、1か月前までローテート科変更可能）

2年次の自由選択では、希望に応じて公立学校共済組合系列7病院（東北、関東、北陸、近畿、中国、四国、九州）にて研修を行うこともできます。

募集要項

応募資格：令和9年3月に医師免許を取得する見込みである者
医師免許取得者で初期臨床研修を修了していない者

募集人員：6名（予定）

身分：非常勤職員

給与：与：想定年収：1年次研修医 約700万円
2年次研修医 約800～1,000万円

住居：等：宿舍あり 賃貸の場合住居手当あり（上限25,000円）
通勤手当あり（条件あり）

保険：等：健康保険・厚生年金・雇用保険等各種保険完備

その他：学会等出席補助あり

連絡先

電話番号：058-382-3101
fax：058-382-1762
E-mail：saiyo@tokaihp.jp

交通案内



JR（高山線） 蘇原駅下車 徒歩約15分
名鉄（各務原線） 三柿野駅下車 徒歩約20分